

欠陥機オスプレイ強行配備された沖縄・普天間基地

「墜落の恐怖に 毎日脅えている」

米軍普天間基地を抱える沖縄県宜野湾市を10月末、初めて訪ねました。米軍機が市街地上空を早朝から夜の10時すぎまで絶え間なく飛び交っています。加えて、強行配備された米海兵隊・欠陥機オスプレイの訓練が激しくなっています。市民はいつ墜落してくるかわからない恐怖に怒りをあらわにしています。(2012.11.7赤旗5面より)

屋根の上から

顔出す米軍機

市役所には「普天間飛行場早期返還！オスプレイ配備反対！」と書いた横断幕が掲げてありました。市役所正面の国道を渡ると、普天間基地。有刺鉄線がはり

りめぐらされたフェンスには、「米国海兵隊施設 無断で立入ることはできません」と書いた看板がかけられていました。

携帯電話をかけていた午後2時ごろ、突然、空気を切り裂くような爆音が襲ってきました。相手の声が高まったと聞こえませんでした。見上げると、全長30メートル以上ある米軍機が機体を右に傾けながら高度を上げていきます。

輸送機やヘリ、ジェット

機。あらゆる米軍機が次から次へと上空に姿を現します。オスプレイも飛んできました。数えてみると1時間で10回以上、記者の頭上を米軍機が飛び去っていききました。空を見渡すと、必ずどこかに米軍機の

姿がありました。

公園のベンチに座っていた男性(75)は、「自宅アパートの屋上から石を投げればぶつかる高度を米軍機が飛んでいく」といいます。

普天間基地の滑走路南側にあるフェンスの前に立つと、基地内から「ジリジリ」と米軍機の離着陸を知らせるベルが聞こえてきました。カメラのレンズを空に向けて構えました。民家の屋根の上から着陸態勢に入った米軍機が顔を出しました。

「こわい」。とつさに、その場から逃げ出しました。米軍機との距離が近すぎて、墜落する恐怖に足が震えました。米軍機は頭上を通り過ぎ、耳をつんざくような爆音とともに着陸しました。こげつくようなにお

「ゴー・アウェイ (あっちへ行け)」



横田基地滑走路付近で

爆音がしたら 必ず空を見る

普天間基地を一望する嘉数(かかず)高台公園。オスプレイが東の上空に姿を現しました。市内南部を旋回しながら、こちらに向かつて飛んできます。重く低い爆音が近づいてきました。着陸するオスプレイを眺めていた仲宗根清茂さん(62)が、「沖縄は戦場と同

じだ」とつぶやきました。

仲宗根さんの自宅は、普天間基地から数十メートルです。2004年8月13日、自宅から歩いて10分のところにある沖縄国際大学に米軍ヘリが墜落しました。妻のユキ子さん(62)は、基地から墜落現場へと押し寄せる米兵が自宅前の道路を封鎖する光景を目の当たりにしました。この事故以来、仲宗根さんには、一つの習慣ができてしまいました。米軍機の爆音がしたら必ず空を見上げ、機体の位置を確認する。身の安全を確保するためです。

「毎日、墜落の恐怖に脅(おび)えている。いっどこ



住宅地の上空もヘリモードに落ちるか わからない オスプレイを住宅街の

上に飛ばすなんて…。

日米両政府は県民を人として扱っているとは思えない。基地があるゆえ、女性への暴行など米兵による犯罪被害もなくならない」仲宗根さんは、普天間基地をつくるため米軍に故郷を奪われた悔しさを語ります。父母の代まで先祖が守り続けてきた家も財産も、すべて米軍に焼かれました。「目の前に故郷があったもフェンスの向こうは異国の植民地のままだ。安条約は戦争を抑止するなんていうのはゆくし

ないんだ(うそ)だよ。命に勝る宝はないんだ」

そう話すと 仲宗根さんは唇を噛みました。

福生市	8,548
那覇市	7,742
宜野湾市	6,462
嘉手納市	5,241
北谷町	4,106
沖縄市	3,751

人口密集度(KI)

日米運用合意

”口約束だけ”

滑走路南側の延長線に位置する宜野湾市上大謝名(うえおおじやな)地区。上空ではヘリモードで飛行するオスプレイが何度となく目撃されています。日米合同委員会の運用ルールは、ヘリモードでの飛行は基地内に限るとされています。

くがにむい会(老人会)会長は、日米合意なんて口約束だ。住宅街と基地がフェンス一つで隣り合わせだ。オスプレイを住宅街で飛ばさないなどというのはありえない。沖縄をばかにしている」と憤ります。

米軍機が低空飛行する間、電波障害でテレビが映らなくなると話す住民もいました。

上大謝名自治会長の大城ちえ子さん(58)は、「私たちは普天間基地の撤去こそ望んでいる」と話します。大城さんは、ほかの米軍機と同じようにオスプレイも2機、3機と編隊を組んで低空飛行を繰り返すようになるだろう、と心配します。

真栄原地区にある、さつき保育園の沖山隆雄園長(64)は、「園では米軍機の防音対策をとっています。オスプレイの訓練だけは困っている」と、口調が激しくなります。

「オスプレイが子どもたちの頭上を飛ぶことに最悪の危険を感じます。いつ墜落するかわからない危険な機体を自在に飛ばすなんて、県民の気持ちを逆なでするものだ」